

「食料産業の明日を語る」

近年の食料産業は世界規模で技術革新によりかつてないスピードで発展し日本の農業や食料産業も大きな変革期を迎えております。

一方、ロシアのウクライナ侵略などによる世界の食糧や資源の危機は、市民生活はもとより食料産業へ深刻な影響を及ぼし、喫緊の国際問題となっております。

新潟県はコメを中心とする農業と食料製造業を基幹産業として発展してきましたが、持続可能な産業に発展するためには、より一層大胆かつ大きな変化が求められています。

このシンポジウムでは最新の世界の食糧・資源問題を把握するとともに、新潟をリードする食品産業と農業経営者の皆様から新潟の食料産業の現状と未来について語って頂きます。

是非、多くの方からご聴講いただきますようご案内いたします。

日時 2022年9月2日(金) 14:00~17:00

会場 ホテル イタリア軒 3階 サンマルコ (新潟市中央区西堀通7番町1574)

定員 80名 (先着順・無料)

《 1. 基調講演 》



(1) 「逼迫する世界の資源・食糧問題」～ウクライナ危機を踏まえて～

柴田 明夫 氏 (株)資源・食料問題研究所 代表取締役

○ 東京大学農学部卒、丸紅入社、丸紅経済研究所 代表を経て現職。



(2) 「米産業に未来はあるか」

吉田 俊幸 氏 (一財)農政調査委員会 理事長

○ 農学博士。東京大学農学部卒、高崎経済大学学長を経て現職。
「米産業に未来はあるか」(農政調査委員会)企画・編集を担当。

《 2. パネルディスカッション 》



ファシリテーター:

渡辺 好明 氏 新潟食料農業大学 学長 / 元農林水産事務次官

○ 東京教育大学(経済)卒、農林水産省構造改善局長、水産庁長官、
内閣総理大臣補佐官(郵政民営化担当)を経て現職。

パネリスト: 高橋肇氏、浅野和男氏、坪谷利之氏、基調講演者(柴田氏、吉田氏)



高橋 肇 氏

亀田製菓(株)
執行役員
お米総合研究所 所長



浅野 和男 氏

(株)ブルボン
常務取締役
執行役員
統合企画部長



坪谷 利之 氏

木津みずほ生産組合
代表理事

主催 公益財団法人 食の新潟国際賞財団

お問合せ 公益財団法人 食の新潟国際賞財団 事務局 (〒951-8063 新潟市中央区古町7番町1010番地)

電話: 025-201-8901 FAX: 025-201-8902 メール: info@niigata-award.jp

ホームページ: <http://www.niigata-award.jp>



シンポジウム

お申込書

日時 2022年9月2日（金）14：00～17：00

会場 ホテル イタリア件 3階 サンマルコ（入場無料）

お申込み方法

- 必要事項（氏名・所属・住所・電話番号）を記入して2022年8月26日（金）までにEメール（info@niigata-award.jp）にてお申込みください。FAXでのお申込みも受付けております（下記お申し込み記入欄）。
- 先着80名で定員になり次第、締切とさせていただきます。超過の場合のみご連絡いたします。
- 入場整理券は発行いたしません。当日直接会場受付へお越しください。（13時30分～受付開始）
- ご記入いただいた個人情報は、当財団主催事業の開催のご紹介などに使用させていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いいたします

- ご入場時の検温（非接触型体温計にて実施）、手指の消毒等にご協力ください。
- 発熱や咳・咽頭痛などの症状のある方、体調に不安がある方はご来場をお控えください。
- 講演中を含め会場内ではマスクの着用をお願いいたします。マスクはご自身でご持参ください。
- 社会情勢の変化により、講演会の変更または中止する場合がありますので、今後の情報に十分ご注意ください。

FAX用 お申込み記入欄

個人・会社・団体名 (必須)			
住所 (必須)	〒		
電話番号 (必須)		FAX	
メールアドレス			
参加者氏名 (会社・団体の方は必須、複数可)	所属・役職 (会社・団体の方は必須、複数可)		

お問合せ 公益財団法人 食の新潟国際賞財団 事務局（〒951-8063 新潟市中央区古町7番町1010番地）
電話：025-201-8901 FAX：025-201-8902 メール：info@niigata-award.jp
ホームページ：http://www.niigata-award.jp